

ガボン共和国月報（2014年12月）

2014年12月号

在ガボン日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 全国石油従業員労働組合（ONEP）によるストライキ
- ガボン野党大会の開催
- 野党支持者と警官隊との衝突

【外政】

- ボンゴ大統領とマッキー・サル・セネガル大統領との会談
- AGOA会合開催に向けたガボン・米協力
- COP21に向けた気候変動途上国会合開催日の決定

【経済】

- 「2014年世界腐敗認識指数」ガボン94位
- ガボン政府による企業への支払い実施
- 第4回ニューヨーク・フォーラム・アフリカ(NYFA)開催日の決定

【内政】

1 全国石油従業員労働組合（ONEP）によるストライキ

1日0時、エメ・バガフONEP事務局長は無期限ストライキ実施を発表した。ONEPの要求は、①健康保険・社会保障公庫（CNAMGS）による従業員給与の健康・社会保障費天引きの即時停止、②オイル・リビア社組合代表に対する制裁の中止及び復職、③ペレンコ社における2013年3月のストライキを違法と判断した同社社長の判断の否定、④不法滞在中のSTS Iボカール社長の追放及び同社長の職権乱用によって解雇された従業員53名の即時復職。なお、ONEPは、石油セクター総従業員約5,000名のうち約4,000名が加盟する強力な労働組合であり、ストライキ中も最低限の石油生産を保証する方針も、国内における供給不足は必至。同ストライキによるガボン製油会社（SOGARA）の一日当たりの経済損失は4億CFAフラン（約61万ユーロ）に上る。（2日・31日付UN）

2 パリにおけるガボン野党大会の開催

5-7日、野党連合「野党統一戦線」（FU）及び他の野党は、パリにおいて野党大会を開催し、2016年大統領選挙に向けた共通政策の策定及び与党PDG候補に対抗する野党統一候補について協議を行った。同大会は、ジャン・ピン前AU委員長を野党のリーダーとして選出し、同氏を中心に野党の共通政策となる「ガボン解放」計画の具体化を進める旨確認した。（8日付UN）

3 元副大統領による野党連合加入表明

6日、ディジョブ・ディヴンギ・ディ・ンディンゲ元副大統領（オマール・ボンゴ大統領

時代)は、自身の政界復帰及び野党連合への加入を宣言し、野党統一候補立候補に係る関心を表明。(7日付UN)

4 ポンゴ大統領に係る野党の提訴却下

13日、リーブルビル裁判所は、アリ・ボンゴ大統領の出生証明書について野党が行った提訴について、憲法上現職の国家元首に対して裁判権を行使できるのは高等法院(Haute Cour de justice)のみであり、しかも議会が3分の2以上の多数で背任行為及び就任宣誓違反を理由に訴える場合に限られ、その他の場合には管轄権を持たないとして、受理できない旨発表した。(14日付UN)

5 野党支持者と警官隊との衝突

20日、内務相による野党集会禁止の決定にも拘わらず、ジャン・ピン氏及びジャン・エイエゲ・ンドン氏を始めとする野党指導者及びその支持者の群衆はリオ広場を目指しデモ行進を行い、同広場に繋がる道をバリケードで封鎖し進行を阻止する多数の警官隊と衝突。ガボン政府は、30歳の男性1名(ガボン国籍)の死亡、周辺の商店及びガソリン・スタンドに対する破壊・略奪行為、車両への放火、治安当局によるガボン国籍保持者90名及び外国籍保持者数十名の逮捕を発表。(22日付UN)

6 ポンゴ大統領によるガボン農業振興プログラム(GRAINE)の発表

24日、ガボン経済の多角化を推進するボンゴ大統領は、農業振興プログラム(GRAINE: Gabon des Réalisations Agricoles et des Initiatives des Nationaux Engagés)を発表した。現在、ガボンの年間食料輸入額は約2,500億CFAフラン(3.8億ユーロ相当)に上り、国内経済にとって負担になっているところ、同プログラムを通じて国内食料生産量を向上させることによって、食料輸入に係る経常収支の改善が期待される。加えて、地方(約1,600の村)の調和した社会・経済開発、農業の近代化及び約2万もの雇用創出も期待される。(24日付UN)

【外政】

1 ポンゴ大統領とマッキー・サル・セネガル大統領との会談

8-9日の日程でガボンを訪問したマッキー・サル・セネガル大統領は、アリ・ボンゴ大統領と会談を行い、民主主義、テロ対策を含む地域内の平和・安全保障、及びエボラ出血熱対策につき意見交換を行った。また、両首脳は、多数の共通点をもつ両国の台頭化計画(国家経済戦略)に関しても意見交換を行い、持続可能な経済成長の実現に向けて両国間で協力することを確認した。(10日付UN)

2 AGOA会合開催に向けたガボン・米協力

米務省専門家ミッションは、9-17日の日程で当地を訪問し、2015年8月当地でのAGO(African Growth and Opportunity Act)会合の開催に向け、ガボン政府関係者との間で、輸送、宿舎、通信及び査証取得等様々な分野について協議を行った。同会合には招待者約1,600名が参加する予定。(19日付UN)

3 COP21に向けた気候変動途上国会合開催日の決定

今般、気候変動に関する途上国イニシアティブ会合（CSI：Climate South Initiative）公式HPは、同会合を2015年5月28－29日にガボン・リーブルビルにおいて開催する旨発表した。（CSI公式HP）

【経済】

1 仏トタル新社長によるボンゴ大統領表敬

4日、パトリック・ピアンネ・トタル新社長は、ボンゴ大統領を表敬し、ガボンにおけるトタル社の事業につき意見交換を行い、ガボンとの良好な関係を維持し、一層透明な相互互惠協力関係の構築に努める旨述べた。（5日付UN）

2 「2014年世界腐敗認識指数」ガボン94位

トランスペアレンシー・インターナショナルが4日に発表した「2014年世界腐敗認識指数」によると、ガボンは94位で、昨年に比べ順位を8つ上げた。ガボンは、アフリカ全体では17位であり、アフリカ中部アフリカ地域では、最上位であった（カメルーン136位、中央アフリカ150位、コンゴ（民）152位、チャド（154位））。（5日付UN）

3 フィッチ・レーティングによる信用格付け：ガボンBB-

フィッチ・レーティング信用格付け委員会は、ガボンの格付けをBB-とし、2015年の見通しは悪いとした。理由として、原油価格の下落、石油生産量の低下及び石油備蓄の欠如が政府支出の拡大を招き、財政状況が悪化するリスクがあることを挙げた。（9日付UN）

4 ムーディーズによる信用格付け：ガボンBa3

ムーディーズは、ガボンの格付けをBa3とし、見通しは明るい旨発表。右判断のプラス材料として、確かな経済成長の見通し及びCFAフラン圏所属により外的ショックに強い点等を挙げ、他方、マイナス材料として、ガボン経済の石油セクターへの過度な依存及び社会・経済格差等を挙げた。（15日付UN）

5 ガボン政府による企業への支払い実施

ガボン政府の企業に対する工事費用不払い問題に関し、18日、同政府は、総額1,550億CFAフラン（約2億3,600万ユーロ）の支払を実施。2014年1年間の右支払い総額は、約5,400億CFAフランに上る。（19日付UN）

6 第4回ニューヨーク・フォーラム・アフリカ(NYFA)開催日の決定

今般、ニューヨーク・フォーラム・アフリカ公式HPは、第4回ニューヨーク・フォーラム・アフリカ(NYFA)を2015年5月29－31日にリーブルビルにおいて開催する旨発表した。今次NYFAのメインテーマは、「エネルギー資源豊かなアフリカへの投資」(「Investir dans le continent de l'énergie」)。（NYFA公式HP）

7 2015年ガボン経済の見通し

ガボンの2014年経済成長率は6.7%であったが、IMFによると、2015年は、国際市場における原油価格下落による石油セクターの歳入減による財政悪化が継続し、5.4%に低下する見込み。（31日付GE）

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース)